

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年3月11日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670102542号
法人名	社会福祉法人 愛心会
事業所名	グループホーム 桜
所在地	鹿児島市下福元町9057番地 (電話) 099-210-8655
自己評価作成日	平成28年1月20日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成28年3月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

名所の通り、桜の木々に囲まれ自然環境に恵まれた地に当施設がある。法人のケアハウス・デイケアが隣接し花見や運動会の行事を楽しみ、散歩をする事で季節感を味わえている。町内会の清掃作業・文化祭・夏祭りへ参加し地域との交流を図っている。AEDの設置をし、急変時の初期対応が出来るよう備えている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

住宅地を離れ、少し高台に位置したホームは、2ユニットで運営されており、敷地内には自生の桜の木々がシンボルツリーとしてそびえ、花見の時期は利用者、家族の目を楽しませている。

開設以来、地域交流への取り組みを根気強く進めてきた結果、町内会の加入を果たしている。年に1回の総会時には、パンフレットの配布や認知症啓発の発信も行い、地域交流の場として貴重な機会になっている。奉仕作業や地域の季節行事への参加も恒例になっており、実習生やボランティアの受け入れもあり、民生委員の力も借りなが、徐々にではあるが地域の中に根付いてきている。ここに至る迄の管理者や職員の地道な努力が伺われる。

運営推進会議をホーム行事と合同で行うことで、多数の家族の参加を得ている。ホームに足を運ぶ機会が増え、現状への理解や気軽に話し合える場として定着している。

ユニット間の職員の連携やコミュニケーションも良好であり、月2回、合同の職員会議を開き、職員は2ユニット全利用者の情報を共有している。状況に応じ臨機応変に双方で応援に行ける体制をとっている。

職員は、理念に掲げる「ゆっくり、楽しく」のフレーズを念頭に職員自身が気持ちゆとりを持ち、その人らしく穏やかな生活が過ごせるように、利用者の尊厳を重んじたケアに日々努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	目の届く所へ理念を掲げ毎日唱和をすることで職員への意識付けをしている	理念の思いが凝縮された「ゆっくり楽しく」を念頭に、管理者は職員自身がゆとりを持ち、楽しい気持ちを持つことで理念に繋がったケアが出来るように職員と思いを共有している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	民生委員を交え地域（夏祭り・清掃作業・文化祭）へ参加している。中学生の職場体験の受け入れをしている。	開設以来の念願だった町内会の加入を果たし、回覧板や民生員を介して運営推進会議も地域交流の大切な機会になっている。地域行事への参加や総会へ出席し、ホームの情報発信や双方で交流の機会を多く持てるように取り組んでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の総会や清掃作業へ参加しグループホームの案内もしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事を運営推進会議に生かし意見交換が出来ている。民生員や多数のご家族に参加頂き意見交換ができています。	行事と合同で開催する機会が多く、家族の参加を多数、得ている。ホームの現状報告や課題、地域の情報収集を交え、意見交換が行われ、サービスに反映されている。今後はマンネリ化しつつある進行や、出席者の幅を広めるなど改善も進めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>生活保護受給者を受け入れており、保護課との連携がとれている。</p>	<p>運営推進会議に出席もあり、ホームの現状への理解は得られている。介護相談員などの外部の役割も活用し、相談や情報収集などスムーズに連携が執れており、協働でサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設け、毎月のカンファレンスにて検討会議を行い身体拘束をしない取り組みをしている</p>	<p>法人独自で利用者アンケートも行っている。勉強会や研修、カンファレンスを通し、職員は身体拘束の弊害についての意識や知識を高く持っており、教育が徹底されている。日中は職員の見守りと連携で、鍵をかけずに自由な生活を支援している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修や勉強会にて学び情報を共有している</p>			
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修や勉強会にて学び情報を共有している</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分に時間をかけて説明を行っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お気づき箱の設置、面会時の会話の中で要望を引き出せる様努めている。	運営推進会議や、行事参加、面会時などを家族からの意見や要望の聞き取りの機会にしている。定期通信の他、毎月、職員が担当で「家族の皆様へ」と題し、利用者個別の身体状況を詳しく記し、リスクへの理解や日常の詳細な生活ぶりを郵送している。遠方や面会が難しい家族にも絆が途切れないように努力をしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月2回の職員会議やカンファレンスにて日頃からコミュニケーションをとれる環境づくりに努めている	年代層も広く、10年以上のベテラン職員も多数いる。2ユニット間の連携やコミュニケーションも良好で、利用者情報を全職員で共有し応援なども臨機応変に対応できている。管理者は何でも話し易い雰囲気作りに努めている。業務以外の相談等も気軽にできており、職員の信頼を得ている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	運営者と管理者とで意見を交換できる体制を整えている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	カンファレンスや苑外での勉強会や各研修に参加している		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	地域での勉強会・研修に参加している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族や施設・病院等より情報提供を頂き十分にアセスメントを行い対話をすることで不安を軽減できるよう努めている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ささいな事でも、連絡を密にしご家族の思いに耳を傾け信頼関係を築けるよう努めている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>その時、必要としている支援を提供できるよう努めている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人が支援して欲しい事を感じ取れる様な関係性を保てる様努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人の思いに添えるよう御家族と共に環境づくりに努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みにしている、友人・知人の面会や電話がある。その時間を心地よく過ごして頂ける様な環境作りに努めている。	教員をしていた利用者には毎年、教え子から誕生日の花が届いている。正月を自宅で過ごしたり、家族と買い物や墓参りに行く利用者も居る。昔の職場の知人の訪問もあり、年賀状を出す習慣の継続など個々に応じ、対応している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	多くの利用者が居間に集い、ユニットに捉われない関係性にてコミュニケーションが図れている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後にもご家族の面会やお手紙を頂くことがある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様の思いや希望の把握に努め希望に添える様なサービス提供に努めている。	意思疎通が可能な利用者も多くいるが、難しい場合には家族からの情報や表情、所作などから汲み取っている。化粧や居室でのお茶入れなど、思いに添えるような生活が出来るように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や関係者から情報を得ている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日バイタルチェックを行い身体状態や生活を把握しそれぞれのリズムで生活できるよう支援している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のカンファレンスで職員間での意見を出し合い、ご家族・ご本人様・医療を含めて現状に即した介護計画を作成している。	本人、家族の意向を踏まえ、日々の暮らしぶりを反映した介護計画を作成している。モニタリングは3カ月毎に実施し、ケアと照らし合わせ現状に即した介護計画になるように努めている。詳細なカンファレンス記録のフル活用や具体的な意見要望等の引出し方の工夫も今後取り入れる意向である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の状態を、個々のケース記録や連絡帳に記載し職員間で情報共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	既存のサービスに捉われず、その時々ニーズに対応できる様取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	職場体験実習生の受け入れをしている。民生委員との2ヶ月に1回の意見交換も行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回定期受診の他、医療連携にて週1回訪問看護が入り、医療との連携が図られている。	希望のかかりつけ医を支援しているが、入居と同時に協力医療機関に変更する利用者もいる。他科受診は家族が同行している。医療連携体制が整っており、看護師の定期的な訪問で日常的な健康管理も密に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	医療連携により週に1度訪問看護が入る為情報の共有が出来ている		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入院時には、頻繁の面会や連絡にて本人の状態を把握でき、早期に退院出来る様な関係作りが出来ている		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	医療連携開始にあたり、ご本人ご家族の意見を確認し医療や他施設との連携を図れる体制を整えている。	「重度化した場合の対応に係る指針を」定め、詳しい内容で家族に説明し同意を得ている。家族は内容を十分に理解し、身体状況の変化に伴う今後の方向性を共有している。今後、希望があれば、段階に応じ、主治医の指示を仰ぎ、家族の意向を再確認するとともに、職員も方向性を共有し、家族の協力を得ながら、ホームで出来る最大限の支援に取り組む用意がある。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	AEDを設置し、研修を行い初期対応が速やかに行なえるよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回消防署の協力を得て消防訓練を行っている（夜間想定含む）。それぞれのマニュアルを作成し、民生委員の方も参加して頂いている</p>	<p>消防署立ち合いの夜間想定訓練や、立地を踏まえ、土砂災害の訓練も行っている。敷地内の系列のケアハウスとの協力体制も築いている。運営推進会議と合同で行う予定もあり、近隣住民の参加呼びかけや協力体制の再構築も継続的に進めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、ほこりやプライバシーを損ねない言葉かけをしている。	一人ひとりの人格を尊重し、自尊心を傷つける様な態度や言動を慎み対応している。	日常生活では、あらゆる場面で気を配り、声のトーンや名前の呼び方に至る迄、誇りやプライバシーを傷つけ無い様に対応している。職員同士の会話も誤解が無い様に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できるよう援助・助言を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを考慮し、希望にそった生活の支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	化粧品の購入、訪問美容にて、おしゃれが楽しめる環境作りを行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立に好物や旬の食材を取り入れたり、誕生日・行事食で楽しみがもてる様工夫している	メニュー作成は当番制にし、旬の食材を買い付け、食事からも四季を感じ取れるように盛り付けも工夫している。年間を通し行事食も多様であり、花見やソーメン流しなどの季節の外食も楽しんでいる。配膳やモヤシの根切など出来る事を一緒に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合わせた食事形態や摂取状況をチェックする事で習慣に応じた支援をしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの力に応じた口腔ケアの支援を行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄の習慣や時間を把握する。声掛けや誘導で、トイレで排泄できるよう支援してしている。	居室のトイレを使用する為、さりげない声掛けや誘導でプライバシーが確保されている。個々のサインやチェック表でリズムを把握ができており、早めの誘導で失敗を減らし、現状維持と改善に向け、取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食品の工夫、水分補給、身体を動かす機会を設けるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ご本人の希望を踏まえ最低週3回入浴して頂いている	週3回を目安に、曜日や時間帯などは、利用者の希望に応じ柔軟に対応している。入浴剤の使い分けや職員との会話で入浴がリラックスして楽しい時間になる様に支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活リズムに合わせ、昼寝をしたりテレビを見られたりされる時間を大切にしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別に薬情のファイルがあり、情報の共有が出来ている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々にあった役割を持っていただくことで張り合いのある生活をして頂いている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々の体調や希望、天候に合わせて散歩、買い物に出掛けられる様支援している。また、季節行事や地域行事にはご家族や地域の方のご協力を頂いている。	年間計画に季節ごとの外出支援が組み込まれており、家族の参加もある。恒例の地域行事へ出かけたり、ドライブも兼ねて週に1回は買い物デーを設けている。敷地内は広く、花や野菜が植えられ、外気浴を兼ねた散歩は日課になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	一人ひとりの力に応じて対応している		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	利用者の希望に応じて随時電話や手紙を出せる様支援している		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	季節に合った飾りつけや写真を貼っている。天気の良い日は日向ぼっこの出来るソファが廊下にもあり心地よく過ごして頂ける様工夫している	日当たりの良いリビングは、明るく台所の調理の様子からも家庭的な雰囲気が伝わってくる。適所に配置されたソファや椅子で思い思いの時間を過ごしている。空気の入替えや湿度管理に配慮し、季節の花や飾り付けは季節を感じ取れる。開設当初から飼われている犬はセラピー犬として癒しの役割をしている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	共用空間の中でも一人一人が好きな事が出来る空間を作っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が心地よく過ごせるよう使いなれた家具や仏壇・電化製品等を置き心地よく生活できる空間作りをしている</p>	<p>位牌を置き、1日3回お茶を供えたり、個人で朝刊を契約し、居室でゆっくり読む利用者也居る。認知の症状や身体状況に応じ家族の同意を得、シンプルにまとめられた居室もある。テレビや家族写真などを置き、個々が自分のスタイルでくつろげる空間になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の状態に合わせ、手すり目印等にて安心して自立した生活が送れるようしている</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない